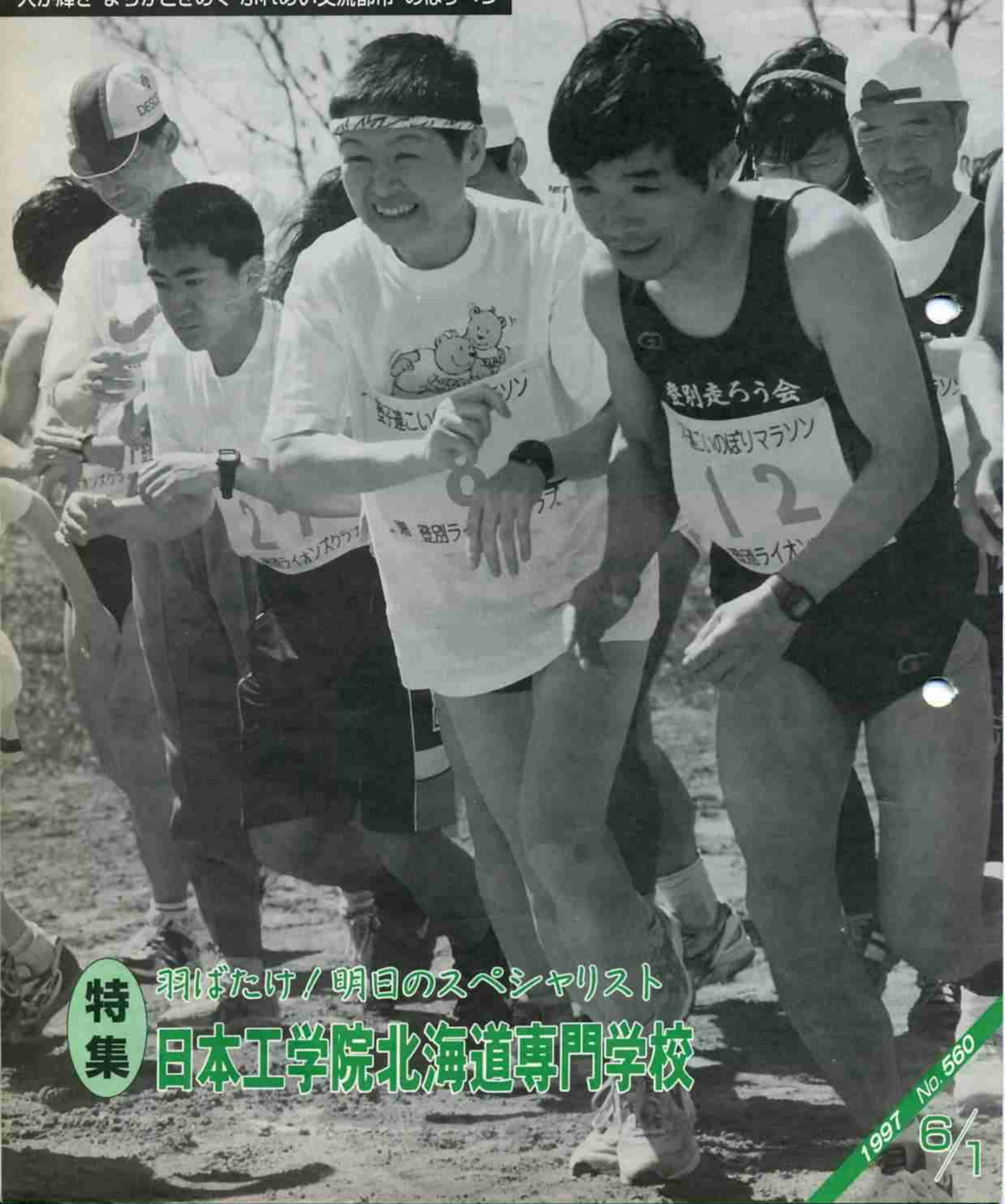


のぼりべつ

広報

5月5日月のこどもの日、千歳町の陸上競技場を会場に、「第22回こいのぼりマラソン」(登子連主催)が行われ、子どもからお年寄りまで387人が参加し、楽しみながら走っていました。

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ



特集

羽ばたけ / 明日のスペシャリスト

日本工学院北海道専門学校

1997 No. 560
6/1



羽ばたけ！明日のスペシャリスト！

日本工学院北海道専門学校

JR幌別駅から道道上登別・室蘭線を登別温泉に向かうこと約5km。見渡す限り緑の美しさが目を奪う札内台地に到着。登別の自然が満喫できる環境の中に、

- 日本工学院北海道専門学校があります。

日本工学院北海道専門学校は、地域産業の発展に貢献できる技術者の育成をめざし、昭和57年、市の誘致により開校しました。

コンピューターやエレクトロニクスなどの最先端の知識と技術を習得するため登別市近郊をはじめ、全道各地や東北、遠くは九州から入学する学生もいます。現在、約700名の学生が、先端技術産業の明日の担い手として学問に、青春に夢を大きくふくらませています。

今号では、7月27日(日)に行われる1日体験入学に先立ち、日本工学院北海道専門学校を紹介します。

日本工学院北海道専門学校

専門学校とは、昭和51年に始まった専修学校制度にもとづき都道府県知事の許可を受ける専修学校の一つです。

専修学校には、3つの課程があり、中学校卒業者を対象とした高等課程、高校卒業者を対象とする専門課程と、入学資格を特別問わない一般課程に分かれています。

この専門課程を設置している学校を専門学校と呼び、日本工学院北海道専門学校はこれにあたります。

日本工学院北海道専門学校は、技術者育成に力をいれる学校法人片柳学園の2校目として開校し、姉妹校に日本工学院専門学校や日本工学院八王子専門学校、東京工科大学などがあります。

開校16年目を迎えた日本工学院北海道専門学校は、現在までに約5,600人の卒業生を社会に送り出し、内定率、就職率ともに100%、求人数24,080人、求人企業数9,384社（平成8年度卒業生実績）と、各界から高い評価を受けています。



将来を

見つめる

8つの選択

専門学校を選択する際に、重要となるのが、自分が学びたいと思う学科があるかどうかです。

日本工学院北海道専門学校には、「情報処理科」「情報ビジネス科」「マルチメディア科」「機械制御工学科」「電子工学科」「電気工学科」「建築学科」「土木工学科」の8つの学科があり、経験豊かな専任教師のほか、室蘭工業大学を初めとする道内の大学に籍を置く教授や助教授、さらに社会の第一線で活躍している専門家などの講師陣55名が学生の将来への道を示してくれます。



◆ 電気工学科 ◆

大規模化、自動制御化が進む発電所などの電気設備を安全かつ円滑に運用管理していくためには、専門の技術を幅広く習得していかなければなりません。

電気工学科では、電気工学の技術を基礎理論から応用技術まで、充実した実験・実習設備を使い学びます。



◆ 情報ビジネス科 ◆

今、企業の事務処理は、パソコンやワープロ中心の実務に移行し、この技術と知識を習得した人材が求められています。

情報ビジネス科では、簿記や事務管理、秘書学などを学び、事務職に必要な実務能力を身に付けるほか、コンピューターによる実務を的確に行える人材を育成します。



◆ 情報処理科 ◆

日進月歩の技術革新の中でも、コンピューターの世界は特に進歩が激しく、せっかく学んだ知識がすぐ陳腐化してしまいかねません。そのような環境の中で、情報処理科では豊富な設備を十分に生かして、基本をしっかりと身に付け応用のきく知識の取り入れ方を学習します。



◆ 電子工学科 ◆

現代社会では、電子工学の進歩に即応できる優秀な技術者を求めており、その需要は高まる一方です。

電子工学科では、社会の需要にこたえるため、電気・電子の基礎知識や有線・無線通信、電子技術などを学びます。



◆ 機械制御工学科 ◆

機械制御工学科では、私たちの身近にあるあらゆる機器を、人間が使いやすいようにする方法や、自動車や機械をつくる生産工場、人間の代わりにロボットをどのように取り込むか考え、それらの設計を学びます。



◆ マルチメディア科 ◆

目覚ましいスピードで発達したコンピュータは、産業界から一般家庭まで、さまざまな分野で利用されるようになりました。

時代の流れに対応すべく、日本工学院北海道専門学校は、情報工学科を再構築し、平成9年4月、マルチメディア科が誕生しました。

マルチメディア科では、世界に情報を発信するための技術として、美術・音楽・画像の理論やコンピューターの概要、コンピューターネットワーク構築技術などを学びます。



◆ 土木工学科 ◆

土木工学科では、橋梁、道路、公園、上下水道など都市環境や生活の基盤を整備するために必要な土木全般の知識と技術を学び、即戦力となる技術者を育成します。



◆ 建築学科 ◆

建築学科では、建築設計の基礎や施工・材料・建築設備などの専門科目を通して、人の心を豊かにし、人を優しく包み込む建築物をつくることのできる技術者を育成します。

好きこそ物の上手なれ

私は、日本工学院北海道専門学校の開校当初から、学生たちにコンピューターを教えてきました。コンピューターは、本当に普及しましたね。コンピューターを全く置いていない企業というのは、今では考えられないのではないのでしょうか。

インターネットや情報のデジタル化という言葉が、今や日常的に感じる現代では、「コンピューターを使える」ということはとても重要になりましたね。

ビジネスマンが、自分の企画立案を説明する際にコンピューターを使ったり、買い物は店に行かず家の中でコンピューターを操作し済ませる。そんな時代が本格的に来たんだと思いますね。

でも、コンピューターがすべてにおいて万能というわけではないですね。人間の感性を超えるコン

ピューターというのは難しいと思います。コンピューターはあくまでも道具で、使うのは人間です。コンピューターは道具としてかなり優秀ですから、人間の感性をどうコンピューターを使って表現するか。これが重要ですね。

私がコンピューターを使うようになったのは、趣味の写真やアマチュア無線をいろいろな形で表現したいと思って始めたんですよ。「好きこそ物の上手なれ」ですよ。マルチメディア科の学生にもいつも言っています。コンピューターを使うためにコンピューターを覚えるのではなく、自分の感性を表現するために、コンピューターを使いなさいと。

楽しみながら、即戦力となる実力をつける場所、それがマルチメディア科だと私は思います。



すぎた ちかし
杉田 親 さん (50歳)
日本工学院北海道専門学校
マルチメディア科専任教師



岡 ともえさん(19歳)
情報工学科(マルチメディア科)

やってみてわかる良さ

室蘭市出身です。

この学校に入学するまで、コンピューターはさわったこともなかったですね。でも、この世の中、どこに就職してもコンピューターは必ず使うことになると思って入学しました。大学も考えてはいたんですが、就職率を考えるとちょっと。

コンピューターは難しいですね。自分の考えていることが、なかなかできないことがあります。でも、できたときの喜びは、やったことのない人にはわからないと思います。やればやるほど、コンピューターって面白いなって思いますね。



勝瀬 好範さん(19歳)
情報工学科(マルチメディア科)

楽しんで技術を学べる

根室支庁管内の中標津町出身です。

もともとコンピューターに興味があり、プログラマーになりたいので、この学校を選びました。

コンピューターは面白いですね。アニメーションなんか、手書きだとうまくできなくても、コンピューターだとうまくできるんですよね。

実習が多いので、本当に楽しんで技術を習得できますね。

寮生活をしていますが、寮生は全部で140人くらいかな。ほとんど顔見知りで、先輩後輩の区別なく友達が多くできましたね。

友人学問そして将来

卒業と同時に スペシャリスト

大学や専門学校で専門的に学んだことを企業の中で生かす、または生かして企業に就職するのは難しく、多くの場合は大学などで学んだことを活用することができません。

日本工学院北海道専門学校はどうでしょうか。技術者を育成する同校卒業生の97・98%が、自分の習得した技術を生かせる企業に就職しています。

超氷河期とまでいわれる昨今の厳しい就職環境。そのなかで、即戦力となる資格を在学中に取得し、自分の技能を生かせる就職先を選択。そして、大学に劣らない公務員試験合格率。それが日本工学院北海道専門学校です。

日本工学院北海道専門学校は、これからも優れた人材を世に送り出していきます。

なるほど！ 納得！ 1日体験入学



7月27日(日)に、日本工学院北海道専門学校では、1日体験入学が行われます。

この日は、自分の見たかった学科で、これから学んでいくことを楽しみながら確かめることができます。参加は無料です。

詳しくは、日本工学院北海道専門学校1日体験入学係(☎0888)まで問い合わせください。

地域の在り方をともに考えます

登別郵便局長と市長との「地域連携懇談会」が4月28日(月)に開かれ、登別市のまちづくりについて話し合いました。

この懇談会は、市からの行政



登別市長
上野 晃

情報の提供や郵便局が地域に果たしている役割や今後のかわりについて意見交換したものです。

上野市長は、「4月21日(月)に実施された郵便局チャリティーバザーなど市民の関心を高める行事が開催されていますが、今後も市の活性化につながるよう郵便局としてより一層、地域行事に参加してください」と協力をお願いしました。

また、佐藤英治登別郵便局長は、「災害時における郵便局のサービ



登別郵便局長
佐藤英治さん

スとして災害情報や安否情報について取り組んでいくとともに、地域のイベントに、今後も積極的に参加していきます。さらに地域に役立つ郵便局を目指し、市と連携して、まちづくりにかわっていききたい。」と話していました。

今年も始動しました！観光ボランティアガイド

5月1日(木)、観光ボランティアガイドの出発式が、活動拠点の登別温泉・地獄谷で行われました。

地獄谷を訪れる観光客を温かくもてなそうと、地獄谷の歴史や周辺の自然などを説明することをおもな活動とする観光ボランティアガイドは、今年で8年目を迎えました。

ボランティアガイド2期生の川瀬トシさんは、



「多くの人に案内してあげたいと思います。月2回、午後から宿泊のお客様が大勢いらっしゃる金曜日を担当しています。」

道外からのお客様も多いので、ガイドをするようになって初めて、全国的にも有名な登別温泉の価値を認識したんですよ。」と話してくれました。



川瀬トシさん

あたたかいう飯お持ちしました

「お待たせしました」「ありがとう」。湯気の立つ温かいご飯と笑顔を宅配する「給食宅配サービス事業」が4月21日(月)から始まりました。

このサービスは、市が社会福祉協議会に委託し、市内の単身高齢者世帯を対象に、1食500円で1週間に2回(月曜日と水曜日、火曜日と木曜日どちらか)保温器に入れた夕食を届けるもので、平成8年11月から約3カ月間試験的に、利用者からのアンケートをもとに女性の配達係を配置するなど内容をさらに充実させ、本格的にスタートしました。



利用者は、市と社会福祉協議会が希望者宅を訪問し聞き取り調査した結果、必要と思われる男性21人、女性39人の計60名。この日、一番最初に配達された棟方弥十郎さんは、「今後も宅配サービスを続けてほしい。どのおかずもおいしそう」とニコニコ。

食事を作る登別市母子寡婦の会と、配達を行うシルバー人材センターと協力して、今後も充実を図っていきます。

▼問い合わせ 保健福祉課在宅ケア係 (☎0110)

空

雨

5月17日(土)、午前6時、土砂降りの雨と雷鳴の轟く倶多楽湖で、チップ漁解禁を告げるサイレンが鳴り響きました。

この日、愛しのチップの顔を見るために、竿入れた太公望は32名19隻。多少、波があるほうが釣果が上がるといわれるチップ釣りに、太公望たちはかっぱに身を包み、冷たい雨を気にもかけずに水面下のチップを追います。

多い人は一日400匹以上も釣るといふ倶多楽湖のチップ釣り。土砂降りのこの日も、自分の目標とする釣果のため、午後2時まで頑張った太公望もいたとか。

今年のチップは、20年前後で前年よりもやや大きめ。塩ふり焼きやフライがおいしいそうです。チップ漁は、8月3日までで、5月17日から6月15日までは、午前6時から午後5時、6月16日から8月3日までは、午前9時から午後4時30まで。



国内最大級の大水槽が完成

〜登別マリナーパーク・ニクス〜

昨年12月から改修工事を進めてきたマリナーパーク・ニクスの大水槽が完成し、4月24日(木)除幕式が行われました。

新しい大水槽は高さ8m、横幅4.6m、厚さ15cmの半円筒形のアクリル板製で、つなぎ目のない一枚ものとしては国内最大級の大きさ。これまでの柱で仕切られていた水槽に比べるとグリーンと見やすくなり、ナポレオンフィッシュをはじめ、約40種900匹の熱帯魚が気持ち良さそうに泳いでいます。

来館者から新しい水槽の名前を募集したところ、札幌市に在住の



熊谷亜美さん

熊谷亜美さん(7歳)と奈良美和さん(28歳)が命名した「クリスタルタワー」に決定しました。

除幕式でテープカットに加わった熊谷さんは、「水槽の名前はお母さんと一緒に考えました。私がつけた名前のお水をみんなに見てもらえるのでうれしいです。また遊びに来たいな。」とこやかに話してくれました。

革製品をつくって販売

4月24日(木)、身体障害者地域共同作業所「革工房 瑞樹」が市内中央町5丁目1のプラザフアイブ1階にオープンしました。この施設は、身体に障害のある方が、作業や生活の訓練をしながら自立を目指すというもので、革製品の製造から販売までを行います。

代表者は、今川瑞夫さん(57歳)。今川さんは、障害のある方のために一念発起し、新日鐵を辞めて、札幌の革製品製造専門店「革製品の製造技術を学んだあと、新店舗の確保や開設準備を進めてきました。

店内で販売している商品には、ビジネスバッグ、婦人用セカンドバッグ、財布、キーホルダーなどがあります。

今川さんは、「いい革製品をつくるには、手先の勝負です。こ




今川瑞夫さん

れからは、メーカーからの受注生産だけでなく、「瑞樹」独自のものもつくっていきたくと思っています。うちにはスジのいい人がいるので、ゆくゆくは障害のある方が自分の店を持てるよう支援していきたいと思っています。」と話してくれました。



水道料金の改定



10月1日から水道料金を改定します。

水は、私たちが生きていくうえで、なくてはならないものです。

おいしく安全な水を確保するためには、水道事業を健全に運営していかなければなりません。

今号では、水道料金の「Q&A」で改定内容をお知らせします。

Q1 なぜ、水道料金を改定するの？

市は、平成2年に改定した料金により、経営費用の節減と効果的な事業投資に努めてきましたが、この間、分水料金（室蘭市から購入している水）の三度にわたる改定や経営費用の増加により平成8年度で給水原価（水の製造価格）が水道料金を上回りました。

このような状況のなか、安全でおいしい水の安定供給のためには、新たな配水池の建設や浄水場の整備、老朽配水管の改良など多額の費用を必要とすることから、水道事業運営審議会（市民10名で構成し、水道事業の運営に関する重要事項を調査・審議する機関）の審議を経て、3月議会で議決になり

ましたので、市民のみなさんに平均16・45%の上げ幅で改定をお願いするものです。

Q2 いつから改定するの？

今年の10月使用分から改定しますが、9月30日以前から継続して使用している場合は11月使用分からの改定となります。

Q3 平均使用量でどれくらい料金が上がるの？

市民のみなさんの平均使用量は、家事用で15㎡/月、家事用以外で76㎡/月となっています。家事用は現行一、八七〇円が二、一九〇円となり、三三〇円の値上げになります。

Q4 用途別の改定率は？

現行料金と比較すると、
 家事用以外は一、七六〇円が一、五八〇円となり、一、八二〇円の値上げになります。
 （なお、傍線部分の金額に消費税及び地方消費税の5%を加算した額が料金となります。）

用途別	改定率
家事用(一般家庭)	16.36%
家事用以外(事業者等)	16.55%
浴場用	24.57%
臨時用	17.66%
消防用	22.22%

の改定率となります。

Q6 市が水利権を持っていない河川があるのはなぜ？

は、室蘭市が水利権を持っている登別川から78円/㎡で購入しています。

Q7 登別市の水道は安全？

登別市が「村」であった当時（昭和26年以前）、隣の室蘭市では工場用や飲料用として、大量の水を必要とし、また、広域的な見地から室蘭市や製鉄会社などが水利権を取得した経緯があります。したがって、登別市には水利権の持っている河川と持っていない河川があります。

水道水としての水質の安全については、国で定めた水質検査を実施しており、安全はもとより、お

Q8 トイレや台所の汚水を下水道につないでいるけれど下水道使用料は？

下水道使用料については、変更ありません。

ただし、消費税及び地方消費税の改定に伴い、新税率の適用が4月使用分から5%として適用させていただきます。また、3月31日以前から継続して使用している場合は、5月使用分から消費税及び地方消費税5%を適用させていただきます。

Q5 水を室蘭市から買っているって本当？

本当です。登別市の水源は、クスリサンベツ川、登別川、来馬川の三本の川ですが、そのうち当市が水を使用する権利（水利権）を持っているのは、クスリサンベツ川と来馬川だけです。

当市の1年間の使用量は約五〇〇万㎡で、そのうち約二四〇万㎡

●市は、水道週間（6月1日～7日）にちなんで、「水道施設見学会」を実施します。

▶見学場所

- ①登別温泉浄水場
- ②幌別浄水場
- ③若草配水池

▶参加料 無料

▶日時・定員 6月9日(月)

午前の部 9時30分～12時(25名)

午後の部 13時30分～16時(25名)

▶申し込み

6月6日(金)の10時から16時までに業務課(☎55501)

●水道バック金を無料配付します。

ご希望の方は、6月30日(月)までに工務課(☎5510)または各支所にお申し出ください。

問い合わせ

- 水道について 業務課(☎55501)
- 下水道について 下水道課(☎9052)



▲来馬川上流



「登別市行政手続条例を制定」

—平成9年7月1日施行—

みなさんは、市の施設などの使用申請をした時に「どのような基準で審査し、許可しているのだろうか？」と考えたことがあると思います。

市が行う事業や許認可などは、すべて様々な法律や条例などに基づいて行われていますが、法律や条例の内容の中には、なかなかわかりにくいものがありました。

市は、これらのことをわかりやすくするため、各種申請に対する許認可の判断基準や決定までの標準処理期間、不利益処分の手前通知、行政指導を行う場合のルールなどを定めた「登別市行政手続条例」を制定しました。

Q 条例はどんなことを目的に制定したの？

A 申請に対する、市の許認可や行政指導の手続きについて、共通するルールを定め、公正でわかりやすい市政を実現し、市民の権利利益を保護しようとするものです。

Q どんな手続きが条例の対象になるの？

A 市の条例や規則に基づく許認可など（例えば、市民会館の使用許可など）、行政指導

（例えば、申請に対する内容の変更指導など）の手続きが対象です。

Q 許可などの手続きはどう変わるの？

A (1) 申請に対する許可や認可、承認などは、審査基準（許認可などをする時の判断基準）や標準処理基準（申請から許認可などをするまでの標準的な期間）を具体的に設定し、申請窓口に備え付けます。

効果 認可、不許可の見通しやその時期が分かりやすくなります。

A (2) 許認可の取消や改善命令などは、判断基準を設定し、申請窓口に備え付けます。

また、許認可の取消や改善命令などを行う場合は、事前に申請者の主張などを聞く機会（弁明書の提出や聞き取り）を設けます。

効果 許認可の取り消しの理由などが分かりやすくなります。また、取り消しなどに先立ち市に主張を述べる機会が設けられます。

Q 行政指導（指導、指示、勧告など）の手続きはどう変わるの？

A 行政指導は、事前に相手方の任意の協力を得るようにし、協力しないことを理由にして不利益な取扱いをしてはならないことを明らかにしています。

また、相手方から求めがある場合は、行政指導の趣旨や内容、責任者を明確にした書面を交付します。

効果 行政指導の乱用を防ぐとともに、その内容などが分かりやすくなります。

▼問い合わせ 行政管理課

(☎ 5109)

7月1日から

施設使用料が変わります



市民会館 (☎01100)

◆減額対象団体の使用料の一部と冷房料の一部を値下げ
中ホールを9:00~12:00まで使用した場合

		旧	新
減額対象団体	使用料	780円	670円
	冷房料	1,270円	1,080円



鉄南ふれあいセンター(☎02966)

◆一般の方と減額対象団体の暖房料を改定
和室1号を9:00~12:00まで使用した場合

		旧	新
一般の方と減額対象団体	暖房料	80円	90円



市民プール (☎05588)

◆プール使用料を改定

		旧	新
大人、勤労青少年、高校生		200円	240円
小・中学生		70円	80円

※新しく小・中学生用に回数券(6枚
つづり400円)を設けました。

※今号で紹介した各施設の使用料は、見直しを行った一例です。使用料の詳細や免除・減額対象団体(登別市文化協会・登別市体育協会に加入している団体やサークル活動を行っている団体など)については、各施設に問い合わせください。



特別公民館 (☎06111)

◆一般の方と減額対象団体の暖房料を改定
1号会議室を9:00~12:00まで使用した場合

		旧	新
一般の方と減額対象団体	暖房料	190円	200円

登別公民館 (☎01131)

◆一般の方と減額対象団体の暖房料を改定
1号会議室を9:00~12:00まで使用した場合

		旧	新
一般の方と減額対象団体	暖房料	390円	410円

温泉公民館 (☎042068)

◆一般の方と減額対象団体の使用料と暖房料を改定
1号会議室を9:00~12:00まで使用した場合

		旧	新
一般の方	使用料	950円	1,050円
	暖房料	520円	550円
減額対象団体	使用料	70円	60円
	暖房料	520円	550円



郷土資料館 (☎01339)

◆入館料を改定

		旧	新
個人(大人)		150円	190円
個人(小人)		50円	60円
団体(大人)		120円	150円
団体(小人)		40円	50円



各児童館 (☎05634 児童家庭課)

◆一般の方の使用料と暖房料を改定
富士児童館の1号室を9:00~12:00まで使用した場合

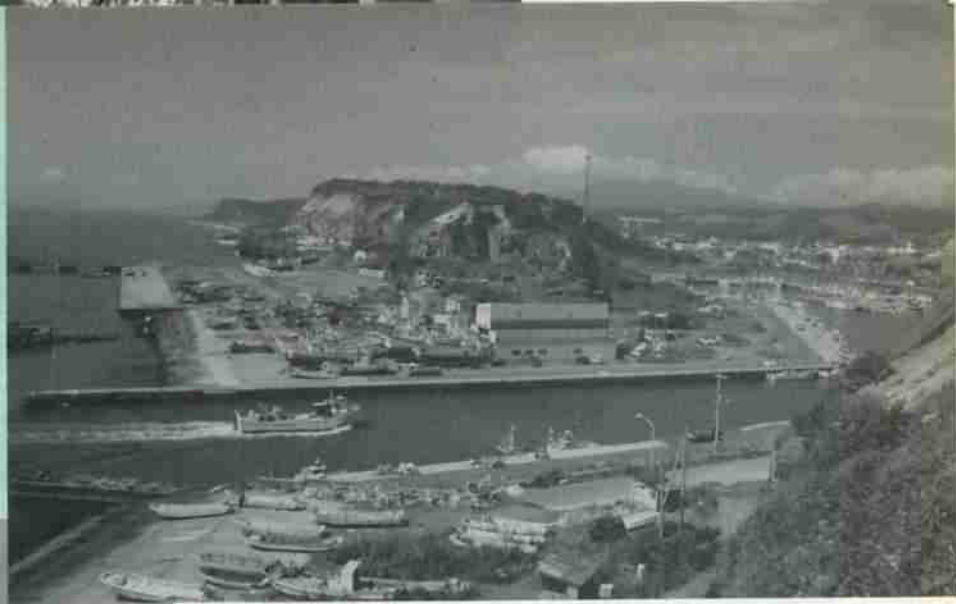
		旧	新
一般の方	使用料	550円	600円
	暖房料	140円	150円
減額対象団体	暖房料	140円	150円

3年一度、市は各施設の使用料の見直しを行います。(前回の見直しは平成6年7月に実施)
使用料は過去3年間の人件費や物件費などを平均した経費をもとに、稼働日数や稼働時間などから単価をだし、部屋ごとの面積に乘じて積算しています。
見直しの結果、料金の引上げばかりではなく、引き下げや据え置

きするものもあります。
今回の見直しでは、市民会館と温泉公民館の一部が引き下げとなり、しんた21や総合体育館、婦人センター、労働福祉センターの料金は据え置きとなりました。
みなさんの財産である施設を維持するため、使用料の見直しに、ご理解とご協力をお願いします。

こんなところが できるといいね

- 海洋美術館
- シーフードレストラン
- ヨットハーバーなど



登別漁港周辺整備 検討委員会の

報告がまとめられました

夢のある将来像

「登別漁港周辺整備
基本計画」へ反映

登別漁港周辺整備検討委員会は、市が昨年、市民とともに50年先を見越してつくりあげた「総合計画」の具現化に向け、これからの登別漁港周辺地域（白老町のアヨロ川から富浦漁港まで約2.5km）において、漁業と調和した海洋性レクリエーション施設の整備はどうあるべきかについて議論を重ねてきました。

このほど、地元関係者の意見が一つでも多く反映されるよう、夢のある将来像として報告書にまとめられました。

同委員会は、漁業関係者や地域住民、各種団体の20団体27人と、室蘭開発建設部、胆振支庁など関係行政機関のアドバイザーとで構成され、市民や自然愛好グループからの提言や情報もいただきました。

提案されたハードの事項は、31項目、ソフトの事項は15項目

※ハード：建物や施設など有形のもの、ソフト：ハードに対する無形のもの

同委員会では整備にあたって、次の点に配慮すべきの基本方針が示されました。

- ①水産業の振興
- ②自然との調和

- ③地域活性化
- ④生態系の保存と水産資源の増大
- ⑤漁業者とのトラブル防止
- ⑥市民との交流

夢のある将来像としてのハードの事項は、「海底駅、海洋美術館、遊漁船・観光船発着場、シーフードレストラン、マリンバイオ研究施設、ヨットハーバー、海岸遊歩道、多目的加工体験館、海産市」など31項目。

ソフトの事項では、「サーモンフィッシングエリア、釣りやファッション情報発信基地、夜のクルーザー観光、環境整備ボランティア」など15項目が盛り込まれています。

実現に向け、関係行政
機関などに働きかけ

市は、今後、提案された事項の実現の可能性について、専門的な立場からの検討を加え、関係者との協議を重ねながら、登別漁港周辺整備基本計画を策定し、「第10次漁港整備長期計画」などに反映されるよう関係行政機関へ要請していくなど、その実現を図っていく考えです。

▼問い合わせ 農林水産課

(☎23321)

私たちの「まち」だから みんなで話をしませんか！

市は、みなさんの意見や要望が反映された市政を進めるため、さまざまな場を設け、みなさんの声をお聴きしています。

福祉のまちづくりについて語り合いました

意見交換や情報交換の場として、市長と市民が直接、意見交換を行う「市長室フリータイム」や市長・部長職が市の主要施策などの情報を提供し、地区課題などについて意見交換を行う「市政懇談会」や「地区懇談会」、市長と地域で活躍する各種団体がまちづくりなどの課題について語り合う「ふれあい懇談会」を開催し、みなで「のぼりべつ」を考え、まちづくりを進めています。

5月26日(月)、しんた21で平成9年度第1回ふれあい懇談会が開催されました。

この日は、個人ボランティアやボランティア団体で構成される「登別市福祉の街づくり広場(亀谷健二代表世話人)」と市長が登別の福祉について話し合いました。

市からの情報提供は、昨年策定した新しい総合計画・基本計画のうち、福祉や健康について表わした「やさしさと共生するまち」の内容を説明しました。

同広場からは、設立に至った趣旨と現在までの活動状況についての説明がされた後、市長との意見交換が行われました。

メンバーからは、「歩道や公共施設など車いす利用者やお年寄りに配慮したまちづくりをすすめてほしい」、「視力障害者の方のために市からの文書などを点字に訳しているが、事前に文書をもらえると、より早く視力障害者の方に情報を提供できるのではないでしょ



▲平成9年度 第1回ふれあい懇談会

うか」といった意見や、「この懇談会は、行政と市民のお互いの情報交換の場として必要と思うので、今後も続けてほしい」など、様々な意見が出ていました。

市長は、ノーマライゼーション(※)の普及や啓発に努力していきたいと話していました。

※障害のある方などを特別視しないで、障害のない方と同じように受け入れる考え方。

グループ懇談会を利用しませんか？

市は、新たに少人数のグループを対象にした「グループ懇談会」を行います。

この懇談会は、地域の少人数のグループから申し出があったときに、市職員が出向いて、ひざを交えて懇談するものです。

「市に対する要望」や「まちづくりに関する意見」などについて、気軽に話してみませんか。

事前に申し込みが必要で

▼申し込み・問い合わせ
企画広報室 (☎1122 フ
ックス1108)

新コーナー名『ちょっとひとこと』 みなさんの声をお寄せください

「すっごくいいことがあったの」「悲しいことがありました」「これって、どうして?」「だれか教えて!」などの、素朴な疑問や一言いいたいこと、市への疑問や意見・要望など、みなさんの声をお聞かせください。企画広報室では、新コーナー「ちょっとひとこと」を設け、みなさんの声を掲載していきます。

掲載された「ひとこと」を見て、みなさんが思ったことや感じたことについても、ご意見をお寄せください。なお、個人や団体への中傷や営利を目的としたお話はご遠慮ください。

「ひとこと」は、電話やはがき、ファクスで受け付けします。また、匿名希望も受け付けしますが、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をお知らせください。

受け付け 企画広報室 (中央町6丁目11番地
☎1122 ファクス1108)

おめでとうバースデー

春の叙勲



田村 国夫さん

平成9年春の叙勲で、田村国夫さん(70歳・千歳町)が勲五等瑞宝章を受章されました。

昭和16年に旧国鉄に入社した田村さんは、機関助手、機関士を経て、43年に管理職の助役となり鷺別機関区へ。55年、富良野機関区長となり、57年の退職までの41年間、機関車の安全な運行や労使問題解決、輸送力の確保に努めてきました。

この度の受章にあたって田村さんは「努力が報われました。本当にうれしいです。」と笑顔で語ってくれました。

いきいき ボランティア

『笑顔をつくる魔法の大工さん』



美園町の佐々木茂弘さん(60歳)は、お年寄りや体の不自由な方の家で、簡単な大工作業のボランティアをしています。

もともと日曜大工が好きだったという佐々木さんは、15年ほど前から、近所の家の玄関の扉を修理するなど、地域でのボランティア活動をしています。

本格的にボランティア活動を始めるようになったのは、今年の2月に会社を定年退職し、自分の時間がもてるようになったので、何か特技や技術を生かせることができればと思ったことがきっかけでした。

現在、佐々木さんは、鷺別町で車椅子の生活を送っている天野さんの家の修繕に携わっています。佐々木さんの日曜大工は、修理に必要な材料を買いそろえることはせず、廃品などまだ使えるものを利用して「リサイクル方式」で、依頼者に負担がからないことを心掛けています。



最初、天野さんからは、建て付けが悪くなった戸の修理だけを頼まれていましたが、天野さんが車椅子で外に出られるようになればと考へ、角材やベニヤ板を集めてきてスロープを取り付けたそうです。スロープができたおかげで、天野さんは海岸沿いを車椅子で散歩しながら海を見ることができるようになり、今では行動範囲が大変広がったそうです。

佐々木さんは「天野さんのうれしそうな笑顔を見たときの感動は忘れられませんね。お金にはかえられない喜びを感じましたよ。今後もし続けていきたいですね。」と話してくれました。

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター
(☎0860)

企画広報室

(広報広聴)

広報「のほりべつ」1日号、15日号の発行などを行っていた総務課広報係が企画広報室(広報広聴)になりました。

企画広報室には、企画調整や情報化、女性担当、統計を行う各担当がありますが、今号では広報広聴担当を紹介いたします。

広報担当は、「広報のほりべつ」発行のほかに、「広報ビデオ」の制作や市外に広く登別を紹介する冊子「市勢要覧」の作製、市の各種制度や施設の利用方法など行政サービスについてまとめた冊



▶市勢要覧・広報のほりべつ・湯かげん

クローズアップ

子「市民便利帳」の作製、首都圏に在住する登別関係者向けの広報紙「湯かげん」などを作製し、市内外を問わず、広く登別市のPRを行っています。

広報担当は、市長や部長職がみなさんと直接意見交換を行う「市政懇談会」や「地区懇談会」、「市長室フリータイム」の開催、市の施設などを見学し、登別の現状を理解し、将来について考える「市民見学会」を開催しています。

広報広聴は、みなさんの意見や要望を聞き、市の事業や施策に反映させ、実行する事業や予定の事業を、みなさんが市政を考える時の判断材料として紹介し、それに対するみなさんの声を聞く窓口です。

市は、誰もが生き生きと暮らし、誇りにできるふるさと「のほりべつ」をつくるために様々な事業を行います。しかし、みなさんの理解と協力を得ずに、まちづくりを進めることはできません。

企画広報室(広報広聴)は、私たちの「まち」が輝くために、みなさんの耳や口として、まちづくりに取り組んでいきます。

▼企画広報室 (☎1122)

仲間たち

登別大谷ジュニアユースFC

監督 小森 仁さん

(☎050271)

世界に通用する選手をめざして!

登別大谷ジュニアユースFCは、市内と胆振管内の中学生で構成されるサッカーチームです。地元選手の発掘と育成を狙い、平成7年4月にチームが結成されました。



結成当時の団員数は5人で、ほとんど試合もできない状態でしたが、現在は27人の選手が監督とコーチ4人のもとで、練習試合に汗を流しています。練習には登別大谷高校のグラウンドと体育館を利用してはいますが、高校生を相手にしたレベルの高い練習や、積極的に大会に参加して他チームと交流試合をするなど幅広い活動をしています。チームの方針は、サッカーの基本技術の習得を中心として、結果を重視した勝利主義にならないように、体力面と精神面の両方を鍛えることを目標としています。また、選手が将来さまざまなチームで活躍することを考えて、サッカーを通じた他校、他チーム選手との交流も大切にしています。

チームのためよりも、自分自身の将来のために選手には頑張ってもらいたいという監督の小森さん。目標は、Jリーグのみならず世界に通用するサッカー選手を育てることです。5年後の二〇〇二年ワールドカップで登別大谷ジュニアユースFCの選手が活躍することを待ち望んでいるそうです。

がらぎ

登別の天然水

「オロフレ山溪水」

製造元 富浦飲料株

(富浦町)

「北海道の水道水は、あまりカルキ臭くなく、おいしいほうですね。でも、自然が長い時間をかけてつくり上げたオロフレ山溪水はもっとおいしいですよ」と齊藤工場長は笑顔で語ります。

オロフレ山溪水は、オロフレ山の清流が札内台地の地下深くに浸透し、地中の岩石にも採れ長い時間をかけて、富浦に湧きだしている天然水です。



水は、昔から富浦に湧き続け、人々に潤いを与えてきたといわれています。

「ちょっと前には、一般の方がお金を出して水を買うなんて考えられませんでしたね。以前は業務用が主流でしたが、今では、一般の方がケース単位で買っていきますよ。登別の自然の恵みの素晴らしい水を多くの方と分かち合えるってうれしいですね。」と語る齊藤さんの目は常に登別の自然を見つめています。

オロフレ山溪水は、市内ではアーニスなどで販売しているほか、富浦飲料株でもケース単位で販売しています。購入希望の方は問い合わせください。

▼問い合わせ 富浦飲料株(富浦町1丁目57-1 ☎2412)

あすなろ

よしだ たかひで
吉田孝秀さん (25歳)

アイクス(株)勤務

(宋町)



アイクスは、電化製品や自動車、電話などのプラスチック製品製造用の金型をつくり、東京や神奈川県内のプラスチック部品製造会社に販売・納品している会社です。伊達市出身の吉田さんは、札幌の機械工学の専門学校を卒業後、機械関係の会社を経て、半年前にアイクスに入社しました。

吉田さんの仕事は、鉄の表面を砥石で削って形をつくる「平面研削盤」を使って、プラスチック金型を製造する作業に携わっています。

ミクロン単位の作業のため、神経を張りつめて作業をするといいます。鉄を削りすぎてしまったり、設計図どおりにできないこともたまにあるとのこと、毎日が真剣勝負で、いつも勉強を怠れないそうです。休日には、バイクで遠出をして日ごろのストレスを解消しているとか。

そろそろ彼女がほしくなってきたという吉田さん。「仕事に私生活に全力投球で頑張りますよ」とこっぴどりと話してくれた笑顔が印象的でした。

キララ

エッセイコンテストで

優秀作品に選ばれました

清水舞さん（幌別中2年）

「第2回オーストラリア発見エッセイコンテスト（豪日交流基金本部主催）」で、幌別中学校2年生の清水舞さんの作品が入選しました。

このコンテストは、全国で1万2千人の応募から10名が選ばれるもので、北海道では清水さん、ただ一人が入賞しました。受賞を喜ぶ清水さんに話を聞きました。

◎応募したきっかけは

◆「社会科の赤塚先生から賞品がオーストラリア旅行のエッセイコンテストがあることを聞いて、こ

アラを抱きたくて、オーストラリアに関する教材ビデオを見せてもらい、それをもとにエッセイを書きました。」

◎どのくらいで書きましたか

◆「作品の締め切りは、ちょうど期末試験の前だったんですが、急いで原稿用紙3枚ちよつとを仕上げました。」

◎どのような内容のエッセイですか

◆「オーストラリアの自然と環境」という題です。インターネットの使い方を父に

教えてもらいながら、オーストラリアの情報を集めました。ゴールドコーストやエアーズロック、動植物など、オーストラリアの自然と日本、特に北海道の共通点について書きました。そして、森林を伐採してそのままにしておく砂漠になってしまったことも書きました。最後には、自然は地球の宝物で、大切な友達だから、自然を大事にし、守っていかうということも書きました。」

◎ごほうびのオーストラリアにはいつごろ行くのですか

◆「くわしい話はまだ聞いていませんが、今年8月の予定だそうです。先生と一緒に行くことになりました。」



普段は、文章を書くのは得意でなく、まさか入ると思ってもいなかったと言う清水さん。でも、これがきっかけで書くことが好きになるのではないでしょうか。これからもいろんなことに挑戦してください。

私はまちの植物博士

遊遊自適

川瀬寿雄さん（79歳）

富士町

20年以上も植物の観察を続け、3年前には約1千200種類におよぶ市内の花や草木を紹介した手作りの植物図鑑「登別の植物」をまとめた川瀬寿雄さん。退職後、友人に誘われて始めた植物観察が、草花に魅力を感じるようになったきっかけだったそうです。見たことのない植物を探すために、市内だけではなく、道内各地の山中へ入り、けもの道や林道、時には川の中などあらゆるところを歩いたという川瀬さん。以前は北海道では見られない植物を探するために、泊まり込みで本州まで行ったこともあったとか。

をつくって、植物観察に行ったり、勉強会をしたりしています。そこで私が講師として花の説明をするのですが、会員に間違ったことを教えるわけにはいかないのです、暇さえあれば植物図鑑を見ています。植物を見れば、すぐにその名前がわかります。勉強すればだれでもわかるようになりますよ。」という川瀬さんの本棚には、植物図鑑や自分で撮った草花の写真的アルバムがぎっしり収められていて、これらすべてが川瀬さんの頭の中に入っているそうです。



また、野草を探して歩いているうちに、高山植物が見たくなり、植物が見られなくてもせっかくだからと山の頂上まで登ったこともあったそうです。

「自然の中で咲いている草花に魅力を感じますね。それに、まだ見たことのない草花を探しに行つて、それを見つけたときの喜びといったら格別ですよ。」草花を愛し続けて20年。植物を愛するには、自然を大切にすることを続けなければいけないという川瀬さんの気持ちがあはれと伝わってきました。

「」ほど前に登別山野草会

情報

あらかると

公民館講座

「初級英会話教室」

- ▼日時 6月19日(木)、23日(月)、27日(金)の10時から12時
- ▼場所 婦人センターと登別公民館の希望する会場
- ▼講師 東川由紀子さん(婦人センター)、澤田石礼次郎さん(登別公民館)
- ▼定員 各会場20名ずつ
- ▼受講料 無料
- ▼申し込み・問い合わせ 6月5日(木)から6月11日(水)までに社会教育課(☎1100)

親子で楽しもう

「地域スポーツ教室」

「文化・スポーツ振興財団」

月日	時間	場所
6月14日(土)	10:00 ~12:00	登別小学校体育館
6月15日(日)		登別小学校体育館
6月28日(土)		幌別小学校体育館
6月29日(日)		
7月12日(土)	10:00 ~12:00	富岸小学校体育館
7月13日(日)		
7月26日(土)		
7月27日(日)		
7月27日(日)		

▼対象 市内の小学4~6年生の親子(子どもだけの参加もできます)

▼内容 ティーボール、ラケットテニスなどの軽スポーツ

▼参加料 400円(傷害保険料)

▼持参するもの 運動靴、運動のしやすい服装

▼申し込み・問い合わせ 6月10日(火)までに総合体育館(☎5552)

'97 西胆振ネットワールド

i'n 登別開催のお知らせ

インターネットやテレビ会議などの最新情報システムを体験するマルチメディアイベントを開催します。

▼日時 6月7日(土)~8日(日) 10時30分~18時

▼場所 登別サティ、アーニス

▼内容 マルチメディアテレビ会議システム、「こねつとプラン」、インターネット体験コーナー、ホームページ作成教室など

▼参加料 無料

▼問い合わせ NTT室蘭支店マルチメディアビジネスセンター(☎0120-078-554)

「特設人権・困りごと相談所」

を開設します

人権問題、離婚、不動産、金銭トラブルなどでお困りの方の相談を、札幌法務局室蘭支局担当官と登別人権擁護委員が無料でお受け

します。

相談の秘密は固く守られます。

▼日時 6月19日(木) 10時~15時

▼場所 登別サティホールA

▼問い合わせ 札幌法務局室蘭支局(☎25111)

6月1日から10日までは

電波利用保護週間です

電波はテレビ・ラジオをはじめ、社会のあらゆる分野で重要な役割を果たし、私たちの生活に不可欠なものとなっています。

しかし、不法アマチュア無線などによる電波障害は後を絶たず、消防・救急無線などに混信妨害を与える不法無線局が増大しています。

テレビ・ラジオの受信障害や無線通信に対する混信妨害でお困りの方は、問い合わせください。

▼問い合わせ 北海道電気通信監理局(☎011-709-2311)

登別走ろう会会員募集

登別走ろう会は、一緒に走る会員を募集します。



仲間と楽しく走り、さわやかな「あせ」をかいてみませんか。

※年齢・性別は問いません。

▼年会費 2千円

▼申し込み・問い合わせ 小清水さん(☎7360)

6月4日から10日までは 歯の衛生週間です

室蘭歯科医師会は、6月4日からの歯科週間にちなみ、次の行事を開催します。お気軽に参加ください。

◎良い歯の図画・ポスター表彰

▶日時 6月7日(土) 14時~16時

▶場所 室蘭歯科医師会館

◎歯科健康講演会

▶日時 6月7日(土) 13時30分~15時

▶場所 室蘭・登別保健センター(室蘭市東町)

▶テーマ 「歯のはなし~肩こりと口のかわき~」

▶講師 黒田秀雄さん

※講演会終了後、歯科に関する個人相談に応じます。

◎歯の健康教室・歯と歯肉に関する相談、パネル展・8020コンテスト

▶日時 6月7日(土)、8日(日) 10時~17時

▶場所 室蘭ファミリーデパート桐屋

※80歳以上で自分の歯が20本以上残っている方は、当日会場で申し出ください。賞状と記念品を差し上げます。

▶問い合わせ 室蘭歯科医師会(☎3522)

初夏の交通安全運動

「スピードダウン」と「シートベルト」

2つのSで安全運転

6月2日(月)から11日(水)までは、初夏の交通安全運動期間です。交通事故防止に努めましょう。

6月は

『外国人労働者問題啓発月間』 です

事業主の皆さん、外国人労働者の適正な雇用・労働条件の確保と不法就労の防止へのご理解とご協力をお願いします。

▶外国人労働者についての問い合わせ

ハローワーク室蘭公共職業安定所

(☎28689)



このまちが 好き

太陽が大好き
緑はもっと大好き

緑の楽園「亀田記念公園」で
緑のイベント「第5回ラブグ
リーンフェスティバルin
KAMEDA」を開催します。
家族で楽しめる催し物を行
いますので、ぜひお越しください。

▼日時 6月27日(金)・29日(日)
10時～18時、29日のみ16時まで

▼内容 自然と遊ぼうネイチ
ャーゲーム、ジャブジャブ川
金魚すくい、庭木・草花の即
売、盆栽展、盆栽に関する相
談、地元物産品の販売など

▼臨時無料駐車場 登別サテ
ィ駐車場

▼問い合わせ 公園管理事務所
(☎862511)

となりまち

ホットライン

室蘭市

だんバラ公園に遊びにきませんか

▲鷹別岳(通称 室蘭岳)山麓、だんバラスキー場周辺
には、夏の間も楽しめる野外総合公園があります。水道
炊事場を完備したキャンプ場、テニスコート、パターゴ
ルフ場や散策路などの設備が充実し、室蘭港を一望でき
る自然豊かな高原で、初夏のレジャーを楽しみませんか。
▼おもな施設 野外ステージ、水の広場、岩場の山、丸
太のジャングル、グラウンドゴルフ場、ゲートボール
場、展望台、宿泊研修施設「サンパワ380」など(一
部運動施設には使用料金がかります)
▼申し込み・問い合わせ サンパワ380
(☎490059)

伊達市

カルチャーセンターあけぼのに
どうぞお越しください

○南こうせつコンサートツアー「心の虹」
「神田川」「妹よ」「夢一夜」など数々のヒット曲を出
している南こうせつさんが、アコースティックコンサ
ートを開きます。

▼日時 6月30日(月)18時30分開演

▼場所 だて歴史の杜カルチャーセンター大ホール
▼料金 前売り4千円(当日は50円増)

○市民劇団バラムの公演「つたよみさか」

知的な障害を持つ娘とボス猿の純愛を軸に、人間の持
つ潜在的な差別意識を描くミニミュージカルです。

▼日時 7月6日(日)13時からと17時からの2回公演

▼場所 だて歴史の杜カルチャーセンター大ホール
▼料金 一般1千円、中学生以下500円

▼問い合わせ 伊達メセナ協会
(☎0142201515)

